

◇ 検討テーマについて(案)

◎まちづくり(地域づくり)、防災などに関する事項

▽総合的な治水対策の推進

○水災害に係る地域防災力向上の方策

○貯留浸透施設等の設置拡大による流出抑制の方策

◎河川改修に関する事項

▽桂 川・・・段階的な河川整備の進め方など

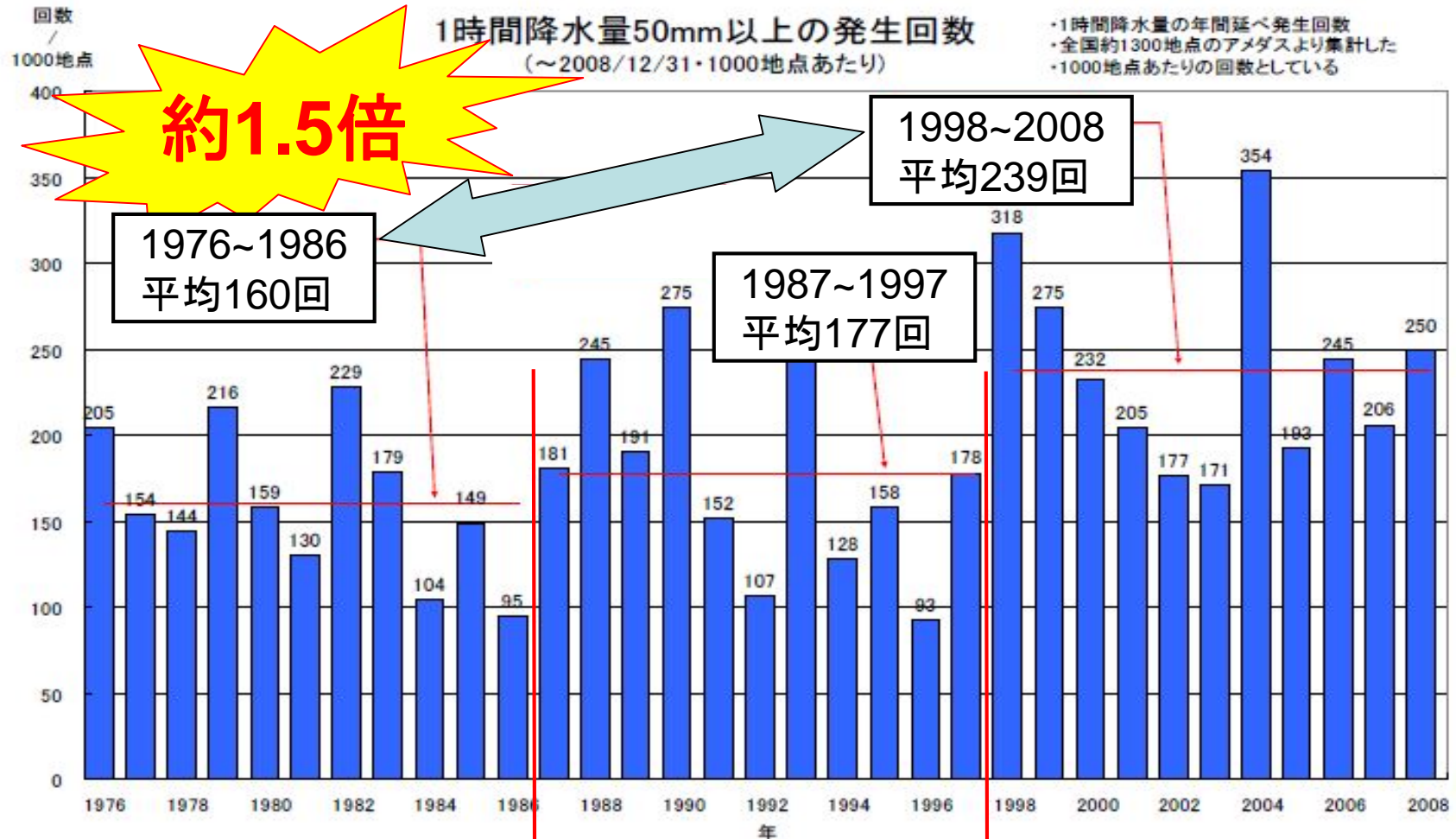
▽宇治川・・・堤防強化範囲の拡大や内水対策など

▽木津川・・・堤防強化の効果的な進め方や内水対策など

※市町村長からの意見を踏まえ随時検討テーマを追加

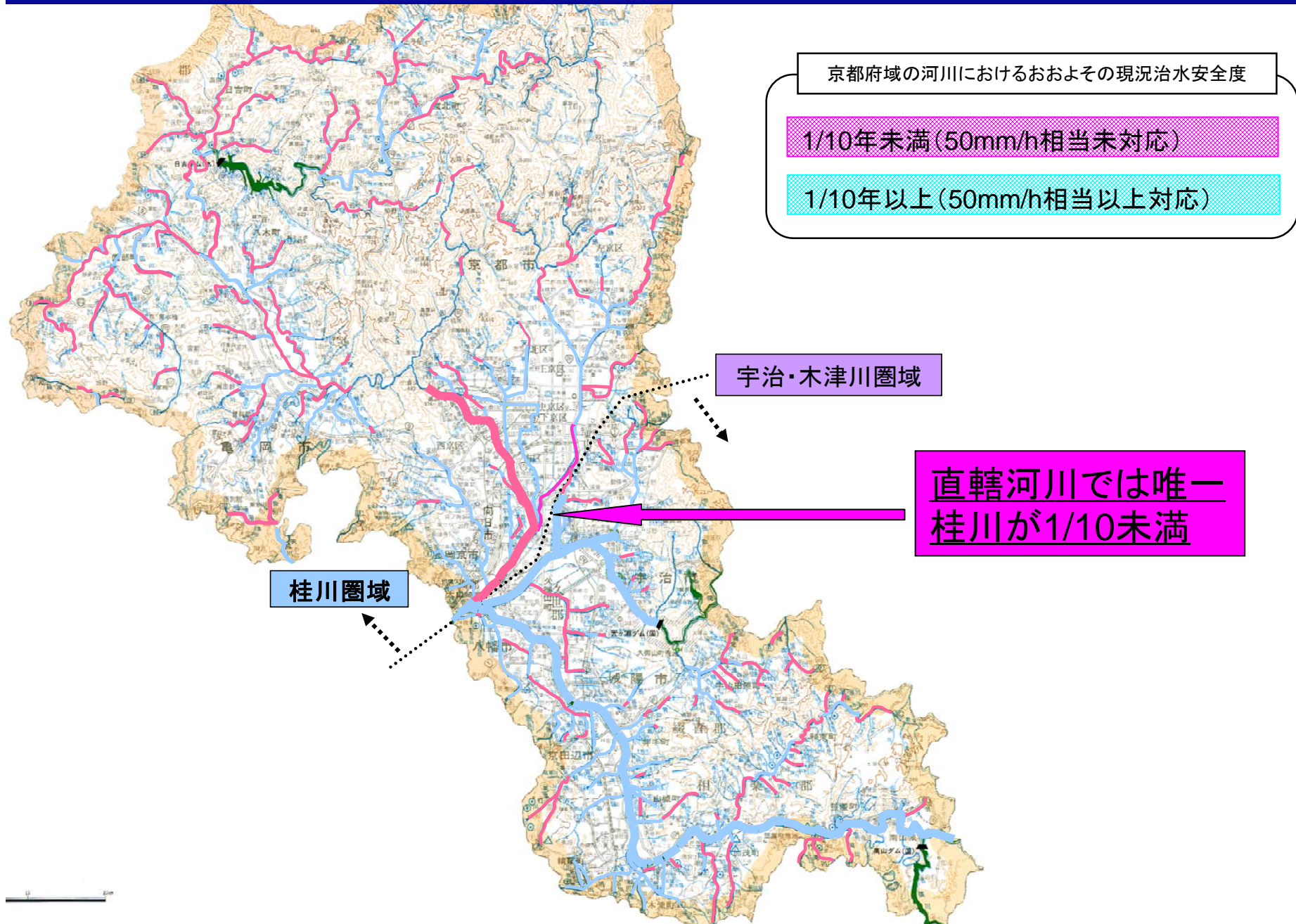
近年の降雨の状況

短時間強雨の発生回数は、ここ30年で大幅に増加



ゲリラ豪雨の増加による災害リスクの増大

京都府域の河川整備の現状①



京都府域の河川整備の現状②

◆府内直轄河川の治水安全度

- 桂川 1／5 (概ね5年に1回発生する洪水を安全に流下させる能力)
- 宇治川 1／10 (概ね10年に1回発生する洪水を安全に流下させる能力)
- 木津川 1／20 (概ね20年に1回発生する洪水を安全に流下させる能力)

◆淀川水系知事管理河川のH21末時点での河川整備率 (整備水準(50mm/h相当):概ね1/10の治水安全度)

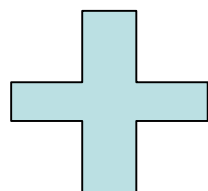
- 淀川水系 42.2%
(内都市河川 54.8%)

※参考 滋賀県の河川整備率 55.5%、大阪府の河川整備率 89.0%

- ・整備水準(50mm/h相当)の達成には、更に時間が必要
- ・厳しい財政状況の中、達成までの要する期間が長期化

治水対策の今後の方向

これまでの河川整備(ハード対策)



総合的な治水対策の推進

- ◆地域づくり等に対応する対策
- ◆危機管理等に対応する対策

総合的な治水対策

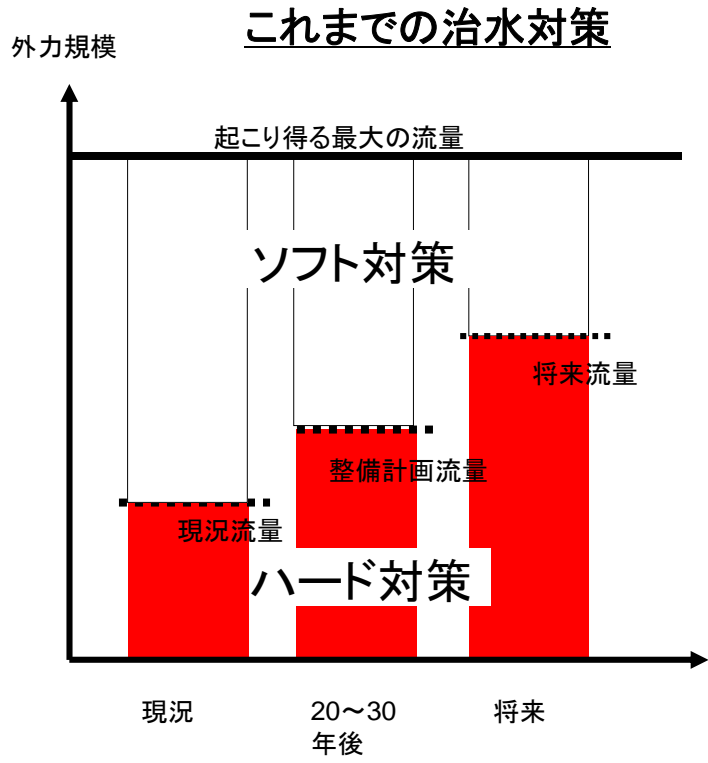
対応の方向、目標

- ◆地域・住民、市町村、府が連携協働して取り組みを実施
- ◆水害から人命を守り、被害を最小限に食い止める

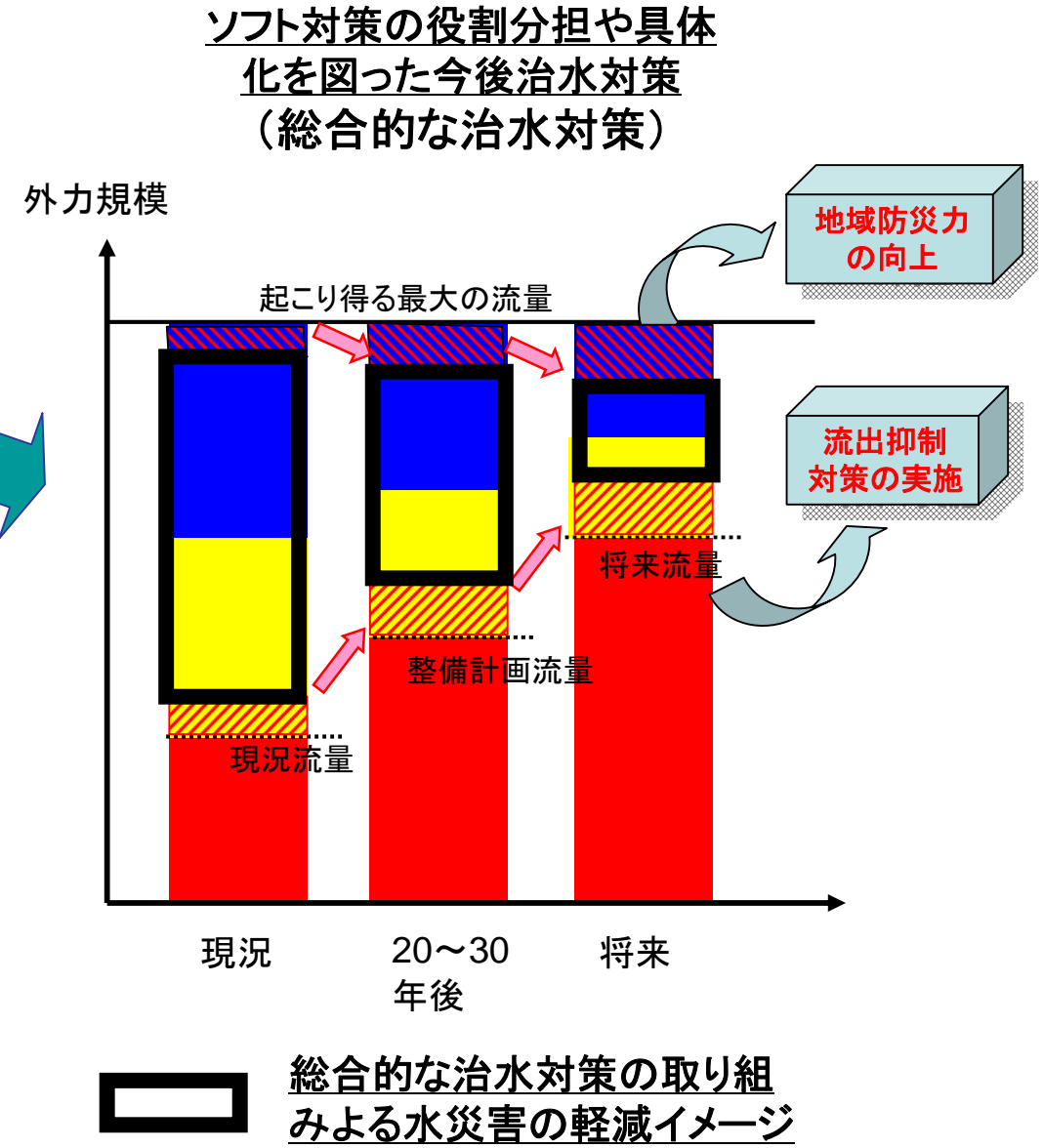
優先して取り組む対策の概要

- ◆河川氾濫や浸水など水害リスクの低減に向け、地域事情を考慮した流出抑制対策など、**地域づくり**の実践
- ◆様々な降雨で想定される地域の水害リスクを住民に分かりやすく説明して、地域・住民・行政が水害に備える**地域防災力の向上**

従来の治水対策との相違



- 凡例
- 危機管理での対応領域
 - 地域づくりでの対応領域
 - 流出抑制対策による対応領域
 - 河川施設での対応領域



流域自治体会議で取り組むテーマ(案)

今回提案のテーマ

◎地域づくり(まちづくり)、防災などに関する事項

▼総合的な治水対策の推進に関する方策

○流出抑制(貯留浸透施設の設置拡大)方策の検討

○水災害に備えた地域防災力の向上方策の検討

以前から提案のテーマ

◎河川改修に関する事項

▼桂川・・・段階的な河川整備の進め方など

▼宇治川・・・堤防強化範囲の拡大や内水対策など

▼木津川・・・堤防強化の効果的な進め方や内水対策など

流域自治体会議で取り組むテーマ(案)

検討テーマの概要

○流出抑制(貯留浸透施設の設置拡大)方策の検討

- ・都市型浸水被害の軽減に資する貯留浸透施設について、市町村と連携して、貯留浸透施設の設置が可能な公共施設(府管理施設を含む)の選定や流出抑制量等の効果に関する調査を実施し、同施設設置の拡大を検討

○水災害に備えた地域防災力の向上方策の検討

- ・防災力の高い地域、脆弱な地域等の判定や水害リスクとの関係から地域、住民、行政等の具体的な弱点を認識 ← 市町村と連携・協働しアンケートを実施
- ・地域防災力の向上に向けた対策を市町村と協働で検討